

## 1 研究主題

人間関係づくりを大切にした学級活動の在り方

## 2 取組の概要

今年度、村上市小教研特別活動部では「人間関係づくり」をテーマに講演会と実践発表会を行うことになった。まず8月に講演および演習を通して「構成的グループ・エンカウンター」について学習を深めた。12月の部会においては、人間関係づくりを大切にした学級活動の実践について情報交換をする実践発表会を実施することとした。本稿では講演会の大まかな内容について報告する。

## 3 講演会

(1) 講師 吉澤 克彦 校長（新発田市立川東中学校）

(2) 内容

### ○ちょっとした「ざわつき」への「まあいいか」が、後の崩壊への種

- ・特別活動においては何よりも子どもの自主性を大事にしなければならない。
- ・学級に必要なことは、ルールとリレーションの二つである。中でも重要なのは、「人が傷つく言葉を言わないこと（ルール）」と「人の話を最後まできちんと聞くこと（リレーション）」である。
- ・最初の指導が肝心である。ちょっとした「ざわつき」に対して「このくらい、まあいいか。」という甘い認識によって、子どもたちが担任や生徒指導主任を乗り越えてしまい、学級・学校崩壊へとつながっていく。
- ・毎年4月には「ふわふわ言葉・チクチク言葉」のエクササイズを行うようにする。
- ・エクササイズ「喜怒哀楽」を定期的に活用し、聞く力をつける。

### ○教師の役割

- ・クラスマネジメント＝クラスマッサージメント
- ・子どもの人間関係、保護者との関係のこりをほぐしたり、摩擦を解消したりする。
- ・顧客はクラスの子どもであり、その保護者である。
- ・要求されていることは何かをマーケティングすることから始める必要がある。  
例…安全ないじめのない学級、学力が伸びる学級、活動することが喜びとなる学級、自分や周りのよさに気づきともに成長する学級、など

### ○さらなる高みへ 「ルールとリレーションがしっかりしていれば…」

- ・エクササイズ「今日のヒーロー・ヒロイン」を行う。「うらやむ」「ねたむ」ではなく「みんなですべて喜ぶような学級」になっていく。
- ・エクササイズ「10年後の私」によって、目標を持って今日を生きることの大切さを学ばせたい。
- ・「元気にハイタッチする学級」をめざして行動した結果、他の学級、学年、そして地域住民までが、あいさつにハイタッチをするようになった大阪の実践もある。